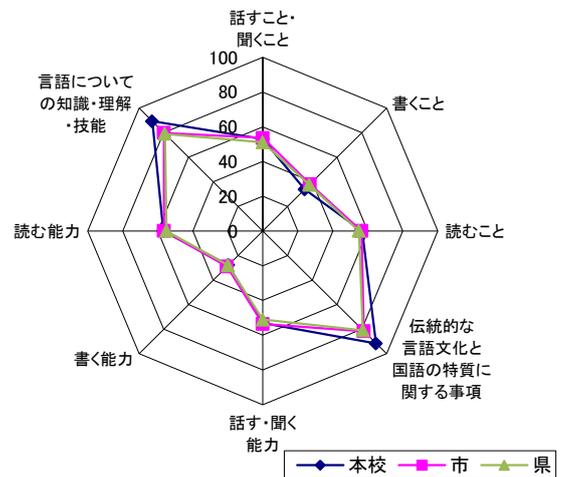


宇都宮市立西原小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	53.0	53.6	51.0
	書くこと	33.9	38.1	37.6
	読むこと	56.8	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	91.6	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	53.0	53.6	51.0
	書く能力	27.8	29.0	28.0
	読む能力	56.8	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	89.3	79.9	79.1



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市や県と比べ、ほぼ同程度である。</p> <p>○発表するために調べたことの要点をまとめたり、相手に分かりやすく説明するための適切な資料を提示したりすることはよくできている。</p> <p>●聞く問題において、話の内容を聞き取り、話し方や話し合いの進め方の工夫を理解することに課題がみられる。</p>	<p>・話し合い活動を円滑に行うための工夫を考えさせ、話し合う機会を意図的に設けることで、分かりやすく話すための様々な手法があることを理解し、実際の場面で活用できるようにしていきたい。</p> <p>・インタビューをする際には、話の要点を書き出しながら話を聞き、話を聞いて分かったことや疑問に思ったことを文でまとめる活動を取り入れていく。</p>
書くこと	<p>他の領域に比べ、平均正答率が低い。</p> <p>○日頃より、授業や家庭学習等で書く活動を多く取り入れている成果として書くことへの抵抗は少なく、未記入の児童の割合は少ない。</p> <p>●文章や資料を読み取ることは出来ているが、その上で必要なことを落とさず書くことに課題がみられる。また、与えられた条件を満たして文章を書くことが十分ではない。</p>	<p>・基本的な文章の書き方について繰り返し指導していくことで、段落を構成する力を身に付けさせたい。</p> <p>・テーマや条件を変えた意見文や説明文などを書く機会を設けることにより、自分の考えを相手に伝える適切な文章を書くことができるよう指導していく。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、市や県と比べ、ほぼ同程度である。</p> <p>○説明文の中で、段落相互の関係を捉えて適切な関係を選ぶ問題では、正答率が県平均を大きく上回っていた。授業の中で段落相互の関係を丁寧に押さえて学習している成果だと思われる。</p> <p>●物語文の叙述を基に場面の様子を読み取ることや説明文の内容の理解して中心となる語や文をとらえるのにと課題があった。</p>	<p>・説明文では、文章の内容や筆者の考えの中心となる語、文に着目させながら的確に読み取れるよう指導していく。</p> <p>・物語文では、今まで読んできた教科書の文章について、時間や場所の変化を表現する言葉や文、描写などを取り上げて、書かれている内容を短い言葉であらすじにしてまとめたり、場面に即した挿絵を考えながら紙芝居を作成したりするなど工夫して学習できるようにしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>他の領域と比べ平均正答率が高く、県や市の正答率を大きく上回っている。</p> <p>○漢字の読み書きについて、第3、4学年配当漢字の読み書きの正答率は県平均を大きく上回っている。また、慣用句や指示語の使い方、読点の打ち方についてもよく理解できていた。継続的に学習に取り組んできた成果だと考えられる。</p>	<p>・各教科の調べ学習や日常生活の中でも、国語辞典や漢字辞典の利用させ、語句を拡充したり漢字の読み書きが習得できるように指導していく。</p>